

新十津川町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月18日設置
平成21年3月24日連携計画策定



新十津川町

概要

新十津川町は、少子高齢化・過疎化により路線バスの利用者は減少しており、将来、その維持が困難となることが懸念されているほか、一部地域では、1日1往復しかバスがないといった極端に公共交通が不便な状況が生じていることから、高齢化等に対応した新たな公共交通の導入、各種交通手段の乗継ぎ機能を持つミニターミナルの整備や生活交通路線の維持等により、安心と利便性の高さを実感できる公共交通環境を確保し、持続可能な公共交通体系の構築を図る。

高齢化等に対応した新たな公共交通の導入(21年度～)

・住民・行政・民間の連携協力により、既存のスクールバスへの一般住民の混乗運行の実施、高齢化率の高い地域へのデマンド型交通導入や高齢者に優しい車両の導入、新たな交通事業者による花月市街地と砂川市中心部との連絡の維持等、郊外部においても安心できる生活環境を確保する。

ミニターミナルの整備事業(23年度～)

・町内公共交通やタクシー・自転車と生活交通路線バス等との乗継ぎ機能を持ち、まちのにぎわいづくりにも寄与するミニターミナルの整備を行う。
・ミニターミナルに隣接している郵便局の空きスペースを活用し、商店街情報提供スペースを兼ねた冬でも快適な待合空間を確保する。

生活交通路線の維持(21年度～)

・隣接の浦臼町、北竜町及び雨竜町の住民の生活交通路線としても利用され、町中心部を運行している滝川浦臼線・滝川北竜線を維持し、中空知圏における求心力の向上を図る。
・町中心部と滝川市中心部の連絡路線である滝新線については、路線の延伸やピストン輸送など利便性を高める方策を検討の上、路線を維持する。

